

中央共同募金会会長メッセージ

赤い羽根共同募金運動が、本日から全国一斉に始まりました。
共同募金運動は、「国民たすけあい運動」として開始されて以来、今年で80回目を迎えます。

戦後間もない昭和22年から、皆様のご支援とご協力に支えられた共同募金運動により寄せられた浄財は、全国各地で、毎年4万件を超える民間福祉活動に活用され、住民相互のささえあい活動、災害時の被災地支援に役立てられてきました。

共同募金は、時代の変化に応じて、人々の暮らしを支え、地域のつながりを育む、大切なしくみとして、多彩な活動を創り出し、育む役割を果たしています。

人口減少、世帯規模の縮小に加え、人と人とのつながりが弱まることで、地域には、孤独・孤立の状況に置かれている人や、生活に困窮する人など、今この瞬間も支援を必要としている人々が数多くいます。多くの方がこうした人々に思いを寄せ、だれもがつながりささえあう「地域共生社会」を実現するためにも、今こそ、共同募金が必要とされています。

北海道共同募金会において不祥事案が発生しました。これを重く受け止め、全国の共同募金会とともに再発防止と信頼回復に全力で取り組んでまいります。そして、支援を待っている人がいることを常に胸に刻み、よりよい未来を創る活動に邁進してまいります。

令和8年10月1日

社会福祉法人 中央共同募金会

会 長 村木 厚子